

## 尾札部中・臼尻中の再編に係る説明会での主なご質問・ご意見

### ○統合時期

**Q 1**：中学校は平成35年度の統合になるが、その前に小学校が統合できれば理想である。市教委はどのように考えているのか。

A：小学校の保護者との懇談の中で、中学校の統合の前段階での統合の要望があり、現在、学校教育審議会に諮問中である。今後、PTAや町会等から意見を伺う意見聴取会を開催し、統合に向けて進めていきたいと考えている。

### ○統合準備

**Q 2**：学校名は決まっているのか。

A：学校名については、統合方針が決定された後、学校関係者や保護者、学校評議員等で構成する統合準備委員会を立ち上げ、その中で検討していくことになる。

**Q 3**：校歌はどのようになるのか。

A：校歌についても、学校名と同様に、統合準備委員会で検討していくことになる。

**Q 4**：統合準備委員会の人数はどのぐらいを想定しているのか。

A：統合準備委員会の人数については、基本的には各学校から10人程度ずつ選出し、20人規模の組織を想定している。

### ○通学

**Q 5**：スクールバスについて、どのように考えているのか。

A：スクールバスについては、遠距離の生徒に対する通学支援は必要と考えており、学校教育審議会からの答申にも遠距離の生徒に対する通学の支援が記載されていることも踏まえながら、今後、慎重に検討していきたい。

## ○施設

**Q 6**：統合の位置は南茅部運動広場になっているが、他の場所は検討されたのか。

A：地域から尾札部中学校と臼尻中学校の中間地点が希望であるとの要望があったことから、その条件で学校の敷地が取れるところを検討したところである。他の敷地に建設することも検討したが、グラウンドの広さや建物の運用方法などについての難しさがあったため、総合的に検討した結果、南茅部運動広場とした。

**Q 7**：新設する統合校の敷地に、グラウンドや校舎を建てた場合、十分な用地が確保できるのか。

A：現在の尾札部中学校、臼尻中学校のグラウンドの規模と比較するとコンパクトになるが、基本的に学校の授業等には支障がないと考えている。

## ○その他

**Q 8**：統合後10年後の生徒数の推計データはあるのか。

A：平成41年度までの推計は出しており、平成41年度は3学級67人となっている。

**Q 9**：歴史のある書物等、今後保管されるものはどのようなものがあるのか。

A：通常、記念誌や沿革誌や校章等、そういったものが中心となると思われるが、今後、学校や統合準備委員会の中で、検討していきたいと考えている。